

★コロナ関連学校方向性ニュース

国や府の指針を受けて市や学校の方針が決定する関係上、本日はまだ西中学校の予定を出すことができません。変更があるかもしれませんが、ゴールデンウィーク後半に今後の動きに関する校長会が予定されています。

そのために、「校長室から」による次回の情報提供は5月5日ごろになる可能性が高いです。ただし、ゴールデンウィーク前半であっても緊急の要件があれば、記事を更新する可能性もあります。定期的にご確認をよろしくお願ひします。

●映像による学習プログラムのご紹介

教科書学習支援動画が含まれます。

生徒のみなさんは必ず見てみましょう

文部科学省ホームページ内 「子どもの学び応援サイト」より

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00056.html

NHK おうちで学ぼう！ NHK for school

<https://www.nhk.or.jp/school/ouchi/>

★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

マスクカバー作りに関して

(もう少し細かい手順を福田先生が作成してくれたのでご紹介します。

前回の作り方から一部やり方が変わっています。)

かんたんマスクカバーの つくり方

材 料

- 縦39cm×横22cmの大きさにカットした布 (ハンカチや着なくなったTシャツでOK)
- アイロン (折り目をつけるために使います。やけどに注意!)
- 針と糸 (ミシンがあるなら、ミシンを使ってもいいですよ!)

作り方

- ① 布の裏面を上に向けて置いたら、はしから6cm折り返します。折り目をつけるために、アイロンを当てます。
アイロンを当てるときはやけどに注意してください。
- ② 次は12cmのところではしから折り目をつけます。これもアイロンでしっかり折り目をつけましょう。



- ③ 6 cmの折り目と12 cmの折り目を重ねるようにして折り目をつけ、アイロンを当てます。



- ④ 布を表向けて広げます。6 cmと12 cmの折り目の間にもう1本折り目が完成しました。右の写真の点線部分です。



この点線の折り目に6 cmと12 cmの折り目を合わせてアイロンを当てます



こんな感じになりませす♪

- ⑤ 布の反対側も同じように折り目をつけてこのような形にしましょう。



- ⑥ 折ったところがバラバラにならないように、両サイドをぬいます。布のはしから5mmぐらいのところをぬうようにしましょう。ちょっとむずかしいかな？



- ⑦ 両サイドを1cm折ってアイロンを当てます。さらにもう1cm折って、布のはしを中に折りこむようにしてぬいます。はしから7mmぐらいのところをぬいましょう。
布が重なっている部分は少しかたいのでぬうときは気をつけてね。



- ⑧ 布の裏面が外になるように半分に折り、
っつ
筒の形になるようにぬいます。はしから1cmぐらいのところをぬいましょう。



ワンポイントアドバイス！

もし、木工ボンドがお家にあったら、布のはしにうすくぬりこむと、布がほつれにくくなり、マスクカバーが長持ちするよ。

- ⑨ (木工ボンドをぬった人は、木工ボンドが乾いてからにしてね！)
マスクカバーを表返したら完成です！！



筒の中に、お家にあるマスクを入れて使うと、カバーを洗濯することでマスクを使い捨てにしなくても、何回か繰り返し使うことができます。ぜひ使ってみてください！

★アラビアンナイト(千夜一夜物語)

まずは、前回の校長ミッションの解答をお伝えします。

※ビニールハウスの半円形の部分に細長くカットした段ボールを積み重ねていきます。そしてその上部から水を流し、段ボールが常に湿った状態にします。そうすると UAE の気温の高さによって、段ボールに染み込んだ水が気化(液体が気体になること)します。気化する時に周囲の熱を奪うことで、段ボール周辺の空気の温度が下がります。その温度が下がった空気を段ボールの外側にある大型のファンでビニールハウス全体に送り込むのです。

この装置を使うことで、本来なら温帯などアラブより気温の低い地域で育つような植物が、気温の高い UAE でも育つのです。今から 20 年も前に、このような装置を自力で作成し、日本から遠く離れたアラブの地で野菜作りを研究されていた日本人がいました。研究成果はアラブの人々に伝えられ、現在、アラブ全体で農業の発展に役に立っているのです。

同じく、別の日本人の方と出会いました。その方は日本でも有数の商社に勤めていて、私はその方から「世界で最も良質の小麦はどこでとれるでしょうか？」と質問されました。私は「アメリカかなあ？ロシアかなあ？」と悩んでいると、その方が「サウジアラビアです」と教えてくださいました。私は「えっ！！」と驚きました。国土の大半が砂漠であるサウジアラビアで、小麦が生産されているという事実にびっくりしました。しかも、その生産高が凄く、当時のサウジアラビア内の小麦は 100%自給できていたようなのです。それどころか、他の国々に輸出することまでできていたそうです。

そういえば、UAE でも場違いな景色を見たことがありました。右も左も見渡す限り砂漠の中にある道路を車で走っていると、大きな緑の美しい円がいくつかある風景が突然現れました。当時は「緑化しているのだなあ」ぐらいにしか思っていなかったのですが、実はそれは小麦の畑だったのです。砂漠の地下水をくみ上げ、その場所を中心にスプリンクラーで円を描くように自動で移動(ぐるぐる回しながら)させながら散水し、小麦を育てていたのです。そのため砂漠の中に大きな緑の円がいくつも並んでいて、それが全て小麦畑だったのです。砂漠の地で、小麦づくり。人々の知恵と努力と行動力がなし得た結果だと思いました。

ところでその「砂漠での小麦づくり」ですが、今のサウジアラビアではほとんど行われていません。なぜかというと、地下水が枯渇しだしたからです。食料もちろん大事ですが、貴重な地下水を使いすぎると様々な問題が生じてきます。そのため、サウジアラビアはやむを得ずこのシステムを捨て、小麦は輸入に頼る道を選んだのでした。ただ、遠く離れた我々日本人が知らない砂漠の国で、このような知恵と努力と行動力があつたことは、知っておきたい事実ですね。

ちなみに現在、砂漠での農業は20年前より一段とハイテク化されています。そのことに関する資料を見つけましたので読んでみましょう。文章は大学生や社会人が読むレベルなので難しいですが、「読む力」をつけるため、そして「最新の情報を手に入れるため」トライしてみてください。

「国連大学ウェブマガジン」 OUR WORLD より

砂漠での食料栽培が世界の食料危機を救う？

<https://ourworld.unu.edu/jp/growing-food-in-the-desert-is-this-the-solution-to-the-worlds-food-crisis>

